



切断コンベア装置 TFC-SR cut D10-D32

鉄筋自動切断機

現在ご使用の切断機に本機セットで、
省力化・能率アップ。



Option 追加材料台



切断後はスイッチにて送出コンベアが傾斜し、切断材をストックに落とします。

■装置及び加工仕様	
仕様	TFC-SR (5×6)
必要ブレーキ容量	60A(セットする切断機のモータ容量は2.2kW以下)
切断可能定尺長さ	3,500~6,000mm
切断可能長さ	400~5,000mm*
コンベア有効幅	300mm
コンベア材料送り速度	58.0/70.0 m/min(50/60Hz)
総モータ容量	1.0kW(セットする切断機を除く)
装置寸法(L×W×H)	11,670×1,910×960mm*
装置総重量	約1,300kg(セットする切断機を除く)
同時搬送最多本数	鉄筋径 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32 本数 8本 6本 5本 4本 3本 2本 1本 1本

*セットする切断機によって、異なります。当社までお問合せください。

本数管理から始める品質管理

加工工場にとって、建設現場に出荷される
加工製品の誤出荷を防ぎたい。

それは、永久不変のテーマとなります。

従来、加工した鉄筋の数は、機械が動いた回数をカウントする
のみで、オペレータはその回数×本数を計算して加工した本
数を割り出していました。本当にその本数なのか?は分かり
ません。

そこで、実際に加工した本数をカウント装置「機械の目」で数
えるようにしました。

自動切断機・自動曲装置に装備し、切断の時、曲げる時、各々
のチェックが可能となりました。

■TFC-LA カウンタ画面



鉄筋自動切断機

自動曲装置に関しては、お客様の現場の声にお応えして、

減算カウンタ …加工する本数を設定し、曲げ加工を行った本数を減算する方法

加算カウンタ …曲げ加工を行った本数を加算する方法。

の2種類をご用意しています。

■減算カウンタ画面



■加算カウンタ画面



標準装備機種

■自動曲装置 TBS-13-6-NC・TRB-10-5II・TRM-2A
TBS-25-NC4R・TUB-25-1-NC・TUB-32-1-NC

オプション対応

■主筋自動曲装置 TBM-41-1AS
■自動切断機 TFC-300SS・TFC-MA・TFC-LA・TFC-LLA・TFC-220T